

議 事 概 要

会 議 名	令和8年度第1回 奄美警察署協議会
会 議 日 時	令和8年7月3日（金曜日） 午後3時から午後4時50分まで
会 議 場 所	奄美警察署 会議室
出 席 者	1 警察署協議会 会長以下11人 2 警察署 署長以下10人
（会議の概要） 1 会議次第 (1) 奄美警察署幹部挨拶 (2) 委員挨拶 (3) 署長説明（管内の治安情勢の概況及び警察署の取組） (4) 令和7年度第3回警察署協議会以降の当署の取組状況 (5) 協議（委員からの意見・要望・質問等） (6) 個別テーマ「県民が魅力を感じる警察組織」の選定理由の説明 (7) 諮問・答申 2 委員からの意見・要望・質問等 (1) 委員から「有屋町に設置されている横断歩道の視認性」に対する質問があり、警察署から「横断歩道付近には道路標識が設置され、路面には横断歩道マークが標示されており、その視認性に問題はない。」旨の説明があった。 (2) 委員から「スーパーマーケット前のバス停が道路に面して危ないのではないか。」旨の意見があり、警察署から「バス停はガードレールが設けられた歩道上に設置されており、安全対策がとられている。道路管理者によると歩道の設置については道路幅が狭く現段階では難しいとのことであった。」旨の説明があった。 (3) 委員から「ドラッグストア前の駐車場出入口について、店舗へ右折して入る車で渋滞が発生しているので、出口専用にするように店側に申入れして欲しい。」旨の要望があり、警察署から「渋滞により交通の円滑が阻害されることを理由に申入れを行う方針であるが、最終的には店舗管理者側の判断になる。」旨の説明があった。 (4) 委員から「笠利地区の夜間のカラオケ等の騒音について、対応をお願いしたい。」旨の意見があり、警察署から「相談や通報があれば、現場臨場して個別に対応してまいりたい。」旨の説明があった。 (5) 委員から「警察署の見学方法や、地域交流の推進について」の質問があり、警察署から「学校等からの依頼に基づき社会科見学やパトカー、白バイの乗車体験等を行っている。今後も地域に溶け込み、警察がより身近に感じてもらえるような活動を継続してまいりたい。」旨の説明があった。 (6) 委員から「法定講習以外でも、年に一度、高齢者対象で座学や簡易認知機能検査等をしてもらい、高齢運転者の事故防止を図ってほしい。」旨の要望があり、警察署から「当署では、ナイトスクールによる体験型講習や各種関係団体の集まりの場において、出張講座を実施している。」旨の説明があった。 3 諮問・答申 警察署長から「県警察の職員採用試験の受験者数が減少傾向にあり、県民から求められる警察とは何かを再発見して、警察活動や取組にいかすため、『県民が魅力を感じる警察組織』について、委員から意見を伺いたい。」との諮問がなされ、委員から「挨拶の励行を行い、親しみやすい警察官の育成を図ってはどうか。」「学校での広報活動の強化を図ってはどうか。」「地域交流を継続し、市民との距離感を縮めてはどうか。」「夫婦駐在所等、県警が行っている施策を積極的に広報してはどうか。」等の答申がなされた。	
備 考	